

STAGE+を楽しむ(230)(HP 収載)
—沖澤のどかのブラームスの交響曲—

1. 始めに

前報(229)に引き続き、STAGE+の沖澤のどかのブラームスの交響曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+の沖澤のどかのブラームスの交響曲の演奏を選びました。

沖澤のどかがブラームスを指揮

サイトウ・キネン・オーケストラ

再配信 2025年3月1日 4:00

再配信 2025年3月1日 10:00

1984年に、世界的な指揮者小澤征爾のもとで結成されたサイトウ・キネン・オーケストラ (SKO)。結成から40年を経て、2024年より、さらなる新しい時代を迎えようとしています。同年の8月に行われたセイジ・オザワ 松本フェスティバル (OMF) では、若かりし日に小澤征爾が優勝したブザンソン国際指揮者コンクールで、2019年に優勝した日本人指揮者沖澤のどかのもとで、小澤征爾とSKOの思い出深い名曲の一つであるブラームスの交響曲第1番・第2番を演奏。みなが息を飲むような名演を披露しました。小澤征爾は2022年フィガロの結婚で、SKOを初めて指揮した沖澤に深く共鳴し、彼女をフェスティバル史上初のOMF首席客演指揮者に指名しました。

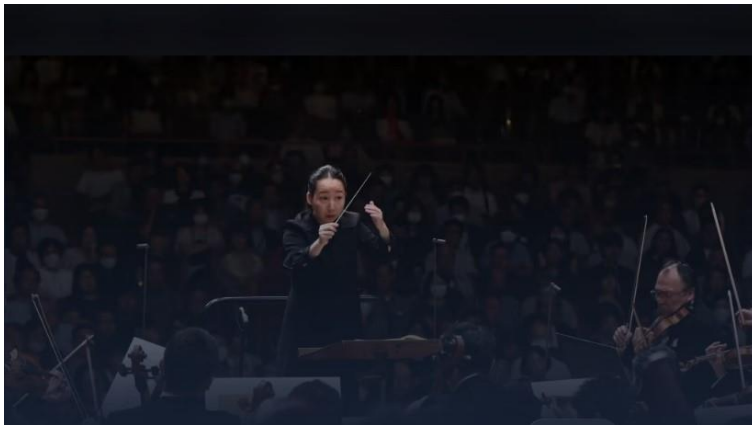
演奏: サイトウ・キネン・オーケストラ

指揮: 沖澤のどか

曲目:

ブラームス 交響曲 1 番

交響曲 2 番



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。沖澤のどかは、小澤征爾総監督により、初のサイトウ・キネン・オーケストラ首席客演指揮者に指名され、DECCA からブラームスの交響曲 1 番と交響曲 2 番のアルバムがリリースされています。



今回、3月1日 10:00 からの再配信を試聴しました。

交響曲 1 番と交響曲 2 番はお馴染みの曲で、女性指揮者の沖澤のどかが、どのような演奏をするか興味がありました。女性指揮者らしく、やさしい指揮ぶりで美しい旋律と和音を引き出しており、交響曲 1 番と交響曲 2 番とも終章の盛り上がりも、厚みもありながら情緒を失いません。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、沖沢のどか指揮の美しいブラームスが聴けました。

以上